

科目名	専門職連携演習	対象学年・時期	3年・前期
講師	非常勤講師および専任教員	単位数・時間数	2単位・30時間
講義概要	<p>ディプロマポリシー1, 2, 4, 6に基づく。</p> <p>今日まで看護基礎教育における「看護の現場」は医療施設が中心であった。しかし、わが国の医療は少子高齢化を背景に病院完結型から地域包括型へ転換され、「地域包括ケアシステム」の構築が推進されている。対象の健康レベルがどの段階にあっても、在宅を視野に入れた地域包括ケアシステムの中で活躍できる看護職の需要は大きい。そのような中で、看護職の役割は多様化しており、ケアの中心にいる患者や療養者およびその家族が「生活の質（QOL）」の維持・向上が図れるよう、他の専門職と連携・協働する能力の獲得が求められている。この専門職との連携・協働にあたって看護職は自らの役割と限界を正しく認識し、対象の自己実現のために提供できるサービスを創造する柔軟な思考と能力が求められる。</p> <p>そこで、社会福祉士と看護職という2つの専門職の課程を学ぶ学生間での協同学習をとおり、対象の課題解決のための協働とケアの質を改善する方略を学ぶ。</p>		
授業形態	講義・グループワーク・プレゼンテーション		
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 各専門職の役割と責務について、専門職間で共有することができる</li> <li>2. 専門職間でのコミュニケーション力を身につけることができる</li> <li>3. 対象者志向の倫理観を持つことができる</li> <li>4. 専門職間で対象者の目標を共有することができる</li> <li>5. 対象者の目標達成・ケアの質向上にむけて深く考えることができる</li> <li>6. 多職種協働・協働にむけての展望を共に語るすることができる</li> </ol>		
授業計画	＜ 内容 ＞		＜ 授業場所 ＞
	1回目	ガイダンスー演習のねらいと目的	酒田市立酒田看護専門学校
	2回目	看護師の職制と業務ー看護師の役割と免許	
	3回目	社会福祉士の職制と業務 ー社会福祉士の役割と免許	東北公益文科大学
	4回目		
	5回目	事例1に基づくグループワーク	酒田市立酒田看護専門学校
	6回目		
	7回目		
	8回目	事例1 発表会・教員講評	東北公益文科大学
	9回目	事例2に基づくグループワーク	
10回目			
11回目			
12回目			
13回目	事例2 発表会・教員講評	酒田市立酒田看護専門学校	
14回目	グループ毎のリフレクション・まとめ		
15回目	レポート作成		
使用テキスト	特に用いない。適宜資料を配布する。		
事前学修・事後学修 (学習を促進できる学修)	適宜、講義内で提示します。		
評価基準と評価方法	ルーブリックに基づくパフォーマンス評価		
備考	グループワークが主体の授業です。メンバーとしての役割を果たし積極的に参加しましょう。		

字体はMS明朝  
字の大きさは10.5ポイント  
列の設定・余白は変えないでください